

つばさ

第2回2026年
7月発行

朝ドラ「風、薫る」に描かれる近代看護

NHK連続テレビ小説『風、薫る』では日本の近代看護を切り開いていった女性たちが描かれています。では当時の近代看護婦とはどのような存在だったのでしょうか。

明治初期まで、女性は学校教育を受ける機会が限られており、看護に従事する人々は、離婚や家計の事情から働かざるを得なくなった女性であったため、専門的な教育は受けていませんでした。そのため役割は主として洗濯を含む身の回りの世話や診療の補助・投薬に限られていました。

しかし1880年代になると、欧米の看護教育を取り入れた養成機関が誕生します。1885(明治18)年、医師の高木兼寛は「有志共立東京病院看護婦教育所」を設立し、ナイチンゲール式の看護教育を修めた看護婦M・リードによる教育が行われました。1888(明治21)年

2月には第1回生5名が卒業し、日本で初めて近代的な看護教育を受けた看護婦が誕生しました。

また1886年にはドラマのモデルとなった「桜井女学校付属看護婦養成所」が開設され、1888年10月に第1回卒業生を送り出しています。こうして、看護は知識と技術を学ぶ専門職へと変わり始めたのです。

しかし、当時は病院内では厳しい上下関係が存在し、患者は看護婦を通さなければ医師に訴えを届けることが難しく、医師を頂点とする権威的な病棟運営が一般的でした。医師にとって看護婦は最も地位の低いものであり、看護婦の身分や待遇はとても恵まれているとは言えないものでした。看護婦の多くは日給制で雇われ、雇用の保障も乏しく、賃金も非常に低かったそうです。

夏の熱中症予防について

夏になると気温や湿度が高くなり、熱中症になる危険性が高まります。熱中症は、体温調整機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもると起こります。

熱中症を予防するには、のどが渇く前にこまめに水分補給を行うことが重要です。また、汗を大量にかいた場合は、水分だけでなく塩分も適度に補給する必要があります。さらに、エアコンや扇風機を適切に使用し、室温を調整することも大切です。外出時には帽子や日傘を利用し、暑い時間帯の長時間の活動を避ける工夫が望ましいです。

近年は気候変動の影響もあり、熱中症による救急搬送車は増加傾向にあります。自分自身だけでなく、家族や周囲の人にも声を掛け合い、体調の変化に気を配ることが大切です。日頃から正しい知識を身につけ、適切な予防行動をとることで、熱中症の発症を予防していくことができます。



蚊に刺されると

夏の天敵、蚊。刺されると「かゆみ」に襲われますが、実は蚊の唾液へのアレルギー反応です。蚊は血をスムーズに吸うため、麻酔成分や血液を固まらせない成分を注入してきます。私たちの免疫システムが「異物だ!」と大騒ぎした結果が、あの猛烈なかゆみなのです。

対策の基本は、「こまかく触らない」「冷やす」「か薬を塗る」です。冷やすことで神経の興奮を鎮め、かゆみの伝達をブロックできます。それでもダメなら、ステロイド配合の市販薬の出番。炎症を元から抑え込んでくれます。

また、蚊は二酸化炭素や体温、足の常在菌の匂いに引き寄せられます。つまり、蚊にモテすぎる人は「代謝が良くて健康的」な証拠。医療の力を借りつつ、対応していきましょう。

ライブラリースタッフのついでに

1年生のライブラリースタッフを募集!!興味がある方はぜひ!!



~制作~
2026年7月
LS一同

9:00~22:00
9:00~17:00

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
8	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
月	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31

9:00~20:00
図書館休館日

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
7	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22
月	23	24	25	26	27	28
	29	30	31			

9:00~15:00
閉館状況未定

※夜間閉館の閉館時間が22時までに変更となりました。ご注意ください。

看護図書館開館スケジュール

一方で同じ頃、日本では女性の権利や教育の必要性を訴える「女権拡張論」が聞かれるようになり、さらには一般女性向け雑誌の普及とともに「女性に必須の教育として「看護」が啓蒙され始めました。1888年には津田梅子が「夫人の位置及び其位置を高尚にすること」「衛生法及び病人看護を心得ること」ハ女にとりて必要」と女性の地位向上と看護の必要性を呼びかけ、看護教育が広まってきました。

今日では看護師は医療専門職として社会に欠かせない存在となっていますが、その礎を築いたのは、女性の社会進出が珍しかった明治時代に、教育を受け、専門職としての看護に挑んだ先進的な女性たちでした。『風、薫る』はフィクションとして製作されていますが、実際の史実と照らし合わせることで、近代看護の誕生とその歩みをより理解できるのではないのでしょうか。

